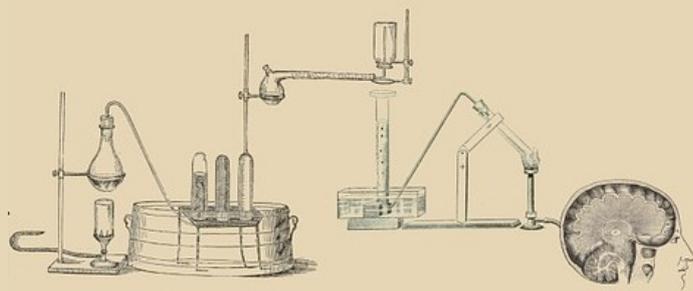


日本の化学のルーツ

せいみかいそう

と『舎密開宗』



天保八年(1837年)に刊行された日本初の体系的化学書『舎密開宗』。

現代にも通じるこの訳書をとおして、日本の化学の歴史をわかりやすく解説していただきます。

11月30日 (木) 15:20~16:40

(15:10より受付開始)

演者：小林啓二 先生 (元城西大学理学部教授、東京大学名誉教授)

会場：城西大学1号館203教室

定員：150名 ※定員に達し次第締め切ります。

共催：城西大学理学部化学科・城西大学水田記念図書館

申込：参加ご希望の場合は図書館1階カウンターへ。

また、メールでの申し込みも可能です。

Email: library1@josai.ac.jp 申込期限：11月27日 (月)

この講演会は化学科コロキウムと共催ですが、化学科以外の学部生・大学院生・教職員の参加も歓迎します。

